

2025 年問題に備えていますか？



サービスの低下、離職率アップ、間に合わなくなるその前に！

人手不足 業務負担増 高齢化

配膳



医療現場の課題を乗り越える

配膳・配送ロボット

配送



下げ膳



歯科・眼科・クリニック、有料老人ホームなど導入が進んでいます。

人とロボットの分業は配膳・配送での身体的な疲れや時間のロスを軽減、待ち時間の減少やサービスの向上につながります。



歯科クリニック

ロボットができる事を任せ、患者さんとの会話や資料作りに時間を回せるように。

コロナ禍で医療を目指す人が少なくなる中、人ができる事とロボットができる事をわける事で、人にしかできない仕事により集中できるようになりました。患者さん、特にお子様に好評で、今日はどこにいるの～とお声がけいただいています。

※写真はイメージです。

有料老人ホーム

配膳や下げ膳など単純な「運ぶ」作業から解放されて、負担が軽減されました！

消毒作業や衛生チェックで以前よりも業務負担が増していました。そんな中、ロボットが導入されこれまで食事を運んでいた時間にテーブルセットや入居者へのお声がけにあてる事ができるようになりました。気持ちの面で余裕も生まれました。



※写真はイメージです。

簡単操作



タッチパネルで簡単に操作が可能です。一度に複数の配膳・配送もでき業務効率のアップが期待できます。

衝突防止



障害物を発見して 0.5 秒という短い対応時間で正確に検知し停止できます。極めて強力な 3 次元知覚を保持しています。

安全性



高い安全性を追求するため、3D センサーを備えています。障害物を発見するとすぐに任意の角度で停止して離れることが可能です。

問い合わせ